

# FY 2024 3Q



## 決算説明会資料

～2024年3月期 第3四半期～

日本ハム株式会社 2024年2月1日



# CONTENTS

## 01

### 2024年3月期 実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期3Q 決算サマリー
- 6 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 10 セグメント情報 食肉事業本部
- 12 セグメント情報 海外事業本部
- 13 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

### 2024年3月期 計画

- 15 計画ハイライト
- 19 2024年3月期計画 加工事業本部
- 22 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 24 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

### 2024年3月期 主な財務データ／参考資料

- 26 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 27 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 28 連結貸借対照表
- 29 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費等
- 31 海外事業本部 地域別売上高内訳
- 32 外部環境／市況

※ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。

※ 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

※ 四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

※ 前第4四半期連結会計期間より、Breeders & Packers Uruguay S.A.（以下、「BPU」）に関連する牛肉事業を非継続事業に分類しております。

# CONTENTS

## 01

2024年3月期

### 実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期3Q 決算サマリー
- 6 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 10 セグメント情報 食肉事業本部
- 12 セグメント情報 海外事業本部
- 13 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

2024年3月期

### 計画

- 15 計画ハイライト
- 19 2024年3月期計画 加工事業本部
- 22 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 24 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

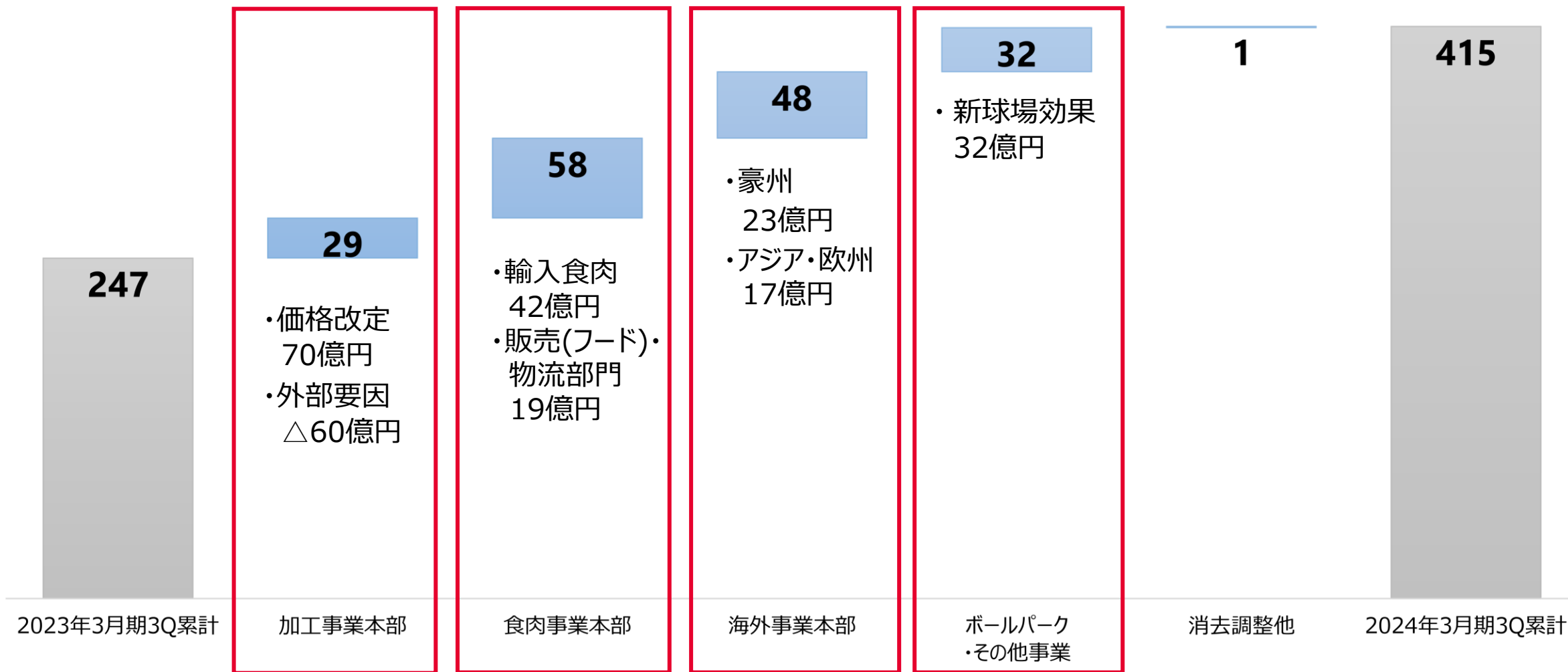
2024年3月期

### 主な財務データ／参考資料

- 26 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 27 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 28 連結貸借対照表
- 29 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費等
- 31 海外事業本部 地域別売上高内訳
- 32 外部環境／市況

## 2024年3月期3Q累計 事業利益

(単位：億円)



## 2024年3月期 3Q実績

売上高

**9,980** 億円

(前年比 +3.7%)

事業利益

**415** 億円

(前年比 +68.0%)

- 売上高は、食肉事業と加工事業で価格転嫁/改定が浸透  
ボールパーク事業も来場者数が順調に推移し増収
- 事業利益は、食肉事業の牽引に加え、各セグメントの販売  
環境等が改善し、全セグメントで増益

## 2024年3月期 通期計画

売上高

**13,000** 億円

(前年比 +3.2%)

事業利益

**450** 億円

(前年比 +75.8%)

- 売上高は、計画通りの着地を見込む
- 事業利益は、ボールパーク事業と加工事業の上振れにより通期  
計画を+10億円上方修正

## 06 実績ハイライト① 2024年3月期3Q累計実績

(単位：億円)

	24年3月期 上期	24年3月期 3Q	24年3月期 3Q累計	前年差	増減率
売上高	6,521	3,458	<b>9,980</b>	353	3.7%
事業利益	250	166	<b>415</b>	168	68.0%
内) 継続事業	259	166	<b>425</b>	157	58.8%
事業利益率	4.0%	4.8%	<b>4.3%</b>	1.5%	-
税引前四半期利益	316	121	<b>437</b>	165	60.6%
親会社に帰属する四半期利益	200	95	<b>295</b>	103	53.6%

## 07 実績ハイライト② セグメント別売上高、事業利益実績

### 売上高

(単位：億円)

	24年3月期 上期	24年3月期 3Q	24年3月期 3Q累計	前年差	増減率
加工事業本部	2,109	<b>1,190</b>	<b>3,299</b>	91	2.8%
食肉事業本部	3,861	<b>2,095</b>	<b>5,956</b>	254	4.5%
海外事業本部	1,502	<b>695</b>	<b>2,197</b>	△309	△12.3%
ボールパーク・ その他事業	185	<b>30</b>	<b>215</b>	84	64.6%
消去調整他	△1,030	△ <b>552</b>	△ <b>1,581</b>	104	-
非継続事業	△106	-	△ <b>106</b>	129	-
<b>連結計</b>	<b>6,521</b>	<b>3,458</b>	<b>9,980</b>	<b>353</b>	<b>3.7%</b>

### 事業利益

(単位：億円)

	24年3月期 上期	24年3月期 3Q	24年3月期 3Q累計	前年差	増減率
加工事業本部	29	<b>60</b>	<b>89</b>	29	48.6%
食肉事業本部	170	<b>113</b>	<b>283</b>	58	25.6%
海外事業本部	2	<b>20</b>	<b>22</b>	48	-
ボールパーク・ その他事業	63	△ <b>19</b>	<b>44</b>	32	256.4%
消去調整他	△15	△ <b>8</b>	△ <b>23</b>	1	-
<b>連結計</b>	<b>250</b>	<b>166</b>	<b>415</b>	<b>168</b>	<b>68.0%</b>

(単位：億円)

	24年3月期 上期	24年3月期 3Q	24年3月期 3Q累計	前年差	増減率
売上高	2,109	<b>1,190</b>	<b>3,299</b>	91	2.8%
事業利益	29	<b>60</b>	<b>89</b>	29	48.6%
事業利益率	1.4%	<b>5.1%</b>	<b>2.7%</b>	0.8%	-

## コンシューマ商品別/チャンネル別 3Q累計売上実績（前年比）

ハム・ソーセージ			デリ商品		
	数量	金額		数量	金額
ウイナー群	-	106.5%	CHILDベーカリー群	-	102.6%
シャウエッセン群	-	105.8%	中華名菜群	-	82.0%
その他ウイナー群	-	108.4%	ハンバーグ・ミートボール群	-	102.4%
ハム・ベーコン群	-	98.1%	フライドチキン群	-	87.0%
コンシューマ計	101.6%	105.3%	コンシューマ計	89.2%	94.8%
業務用	90.8%	99.3%	業務用	104.3%	114.0%
<b>総計</b>	<b>98.9%</b>	<b>103.4%</b>	<b>総計</b>	<b>95.2%</b>	<b>101.3%</b>

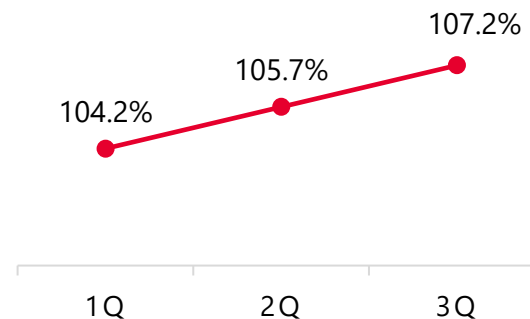
### 売上高 増収

- シャウエッセンは回復基調、豊潤は引き続き好調
- デリ商品はCVS向けを中心に業務用が伸長
- 乳製品・エキス・一次加工品の価格改定が浸透

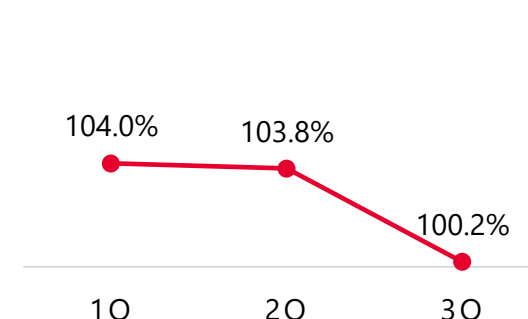
### 事業利益 増益

- 主力ブランドのシャウエッセン・CHILDベーカリー群の回復により商品ミックスの改善が継続し、粗利益が増加
- 原材料価格の高騰が続くも、価格改定の浸透、工場の内部改善が進み、収益性が改善

### シャウエッセン売上高 前年比推移



### CHILDピザ売上高 前年比推移





## 事業利益 前年差要因分析

(単位：億円)

	上期増減	3Q増減	3Q累計増減	主な前年差要因
ハム・ソーセージ&デリ商品	9	10	19	
外部要因	△54	△6	△60	
主原料価格	△32	△7	△39	主に豚肉原料価格が高騰
副資材	△23	△5	△28	卵白末・羊腸・包材の高騰
電燃料	1	6	7	電力費の減少に加え、工場稼働の平準化等の自助努力を推進
内部要因	63	16	79	
価格改定効果	61	9	70	中華名菜の回復遅れで数量効果に影響があったが、単価効果は発現
改善活動	2	7	9	主カブランドに注力した販売施策の実行により、商品ミックスが改善
乳製品・水産・エキス・一次加工	10	4	14	外食向けが好調。乳製品の価格改定、エキスの集中生産が進行
DX費用	△3	△1	△4	
合計	16	13	29	

(単位：億円)

	24年3月期 上期	24年3月期 3Q	24年3月期 3Q累計	前年差	増減率
売上高	3,861	<b>2,095</b>	<b>5,956</b>	254	4.5%
事業利益	170	<b>113</b>	<b>283</b>	58	25.6%
事業利益率	4.4%	<b>5.4%</b>	<b>4.8%</b>	0.8%	-

## 売上高 増収

- 新型コロナウイルス感染症後のリオープンにより需要が増加し、外食チャネルの販売が伸長
- 上期の国産鶏肉の相場高により売上を確保
- 比較的安価な国産鶏肉・豚肉の需要が堅調

## 事業利益 増益

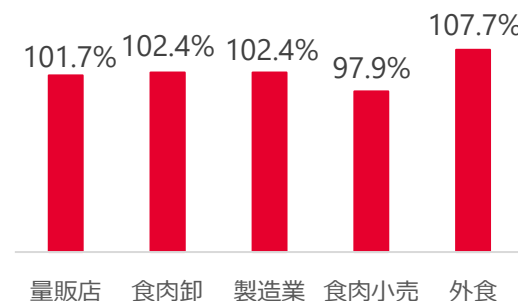
- 主に都市部の量販店が好調に推移し、販売(フード)部門で利益を確保
- 輸入鶏肉・牛肉の回復で利益を確保

## フード4社 3Q累計 畜種別売上数量・金額実績 (前年比)

国産	数量	金額	輸入	数量	金額
牛肉	99.9%	100.1%	牛肉	107.9%	106.5%
豚肉	101.2%	105.5%	豚肉	102.5%	107.1%
鶏肉	100.9%	108.9%	鶏肉	102.6%	98.7%
国産合計	101.0%	105.2%	輸入合計	103.7%	105.0%

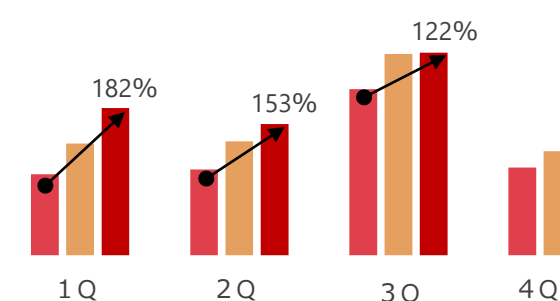
## フード4社 3Q累計 チャネル別売上数量実績

全体の数量伸長 **102.1%**  
(金額：105.1%)



## フード4社利益推移

直近2年間利益額は伸長



※フード4社は、東日本フード・関東日本フード・中日本フード・西日本フード

■ 22年3月期 ■ 23年3月期 ■ 24年3月期  
%表示は22年3月期比  
棒グラフ : 3か年の利益推移※管理ベース

## 事業利益 前年差要因分析

(単位：億円)

	上期増減	3Q増減	3Q累計増減	主な前年差要因
国産牛・豚事業	△7	△2	△10	生産：豚は前年を下回る出荷重量や飼料価格が高止まり 3Qの豚肉相場が計画より下回ったことも影響 荷受：国産牛は高級部位の販売不振、暖冬によるスライス商材の需要低下
国産鶏事業	18	△5	13	生産：3Q相場は前年を下回ったが、1Qを中心に上期の高値相場が影響 荷受：社外調達の強化により販売数量が増加
輸入食肉事業	6	36	42	調達の見直しにより収益が改善、特に3Qは前年から輸入鶏肉・牛肉が大きく改善
販売(フード)・物流部門	18	2	19	量販：都市部での販売が好調 外食：インバウンド需要の増加、特に牛肉群の販売が好調
DX費用	1	1	2	
その他	△7	△2	△9	
合計	28	30	58	

(単位：億円)

	24年3月期 上期	24年3月期 3Q	24年3月期 3Q累計	前年差	増減率
売上高	1,502	<b>695</b>	<b>2,197</b>	△309	△12.3%
事業利益	2	<b>20</b>	<b>22</b>	48	-
事業利益率	0.1%	<b>2.8%</b>	<b>1.0%</b>	-	-

## 売上高 減収

- トルコの鶏肉事業で価格転嫁が浸透するも、ウルグアイの牛肉事業会社の株式譲渡、水産事業譲渡により減収

## 事業利益 収益改善

- 豪州の牛肉事業とトルコの鶏肉事業が好調に推移し増益

(単位：億円)

	事業利益前年差要因分析			主な前年差要因
	上期増減	3Q増減	3Q累計増減	
豪州	△3	26	23	
オーストラリア	△5	19	14	生体牛価格の下落、販売数量の増加
ウルグアイ	2	7	9	8月末に事業譲渡完了
米州	6	1	7	鶏肉加工品は安定した原料環境の下、販促により数量が伸長
アジア・欧州	8	9	17	トルコの鶏肉事業はインフレ対応で価格転嫁を進め収益が改善
その他	0	1	1	
<b>合計</b>	<b>11</b>	<b>37</b>	<b>48</b>	

(単位：億円)

地域別事業利益	
3Q累計	前年差
0	23
12	14
△12	9
18	7
10	17
△7	1
<b>22</b>	<b>48</b>

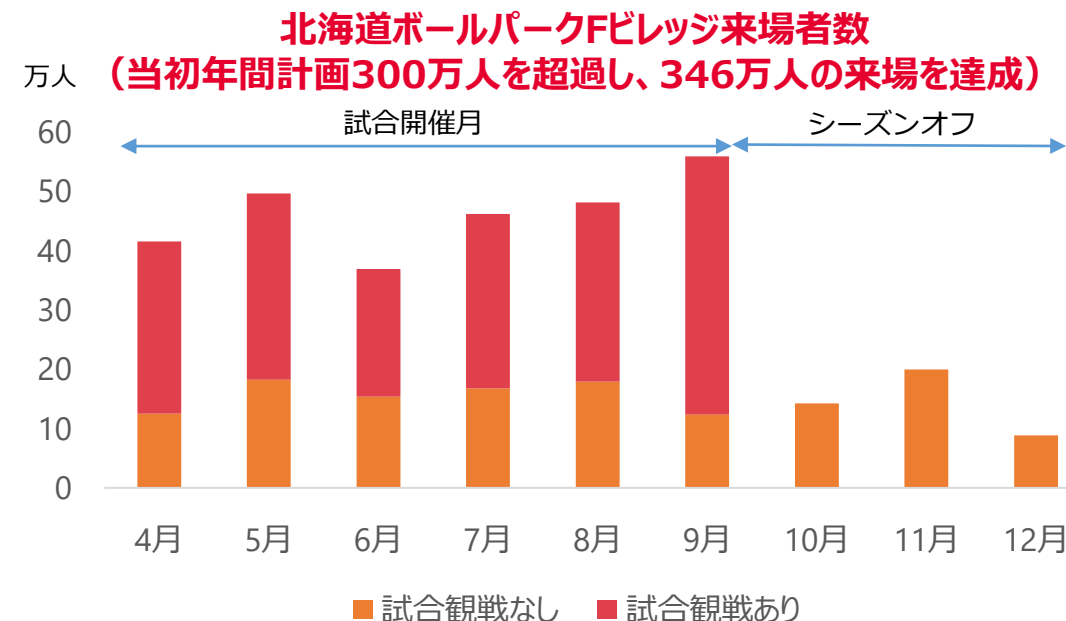
(単位：億円)

	24年3月期 上期	24年3月期 3Q	24年3月期 3Q累計	前年差	増減率
売上高	185	<b>30</b>	<b>215</b>	84	64.6%
事業利益	63	△ <b>19</b>	<b>44</b>	32	256.4%
事業利益率	33.9%	-	<b>20.4%</b>	-	-

※上記数字は、ボールパーク事業及び新規事業の合計

## 売上高/事業利益

- ・ シーズンオフ以降もエスコンフィールドHOKKAIDOでの秋季キャンプの開催やスタジアムツアー等で来場者数が順調に推移
- ・ 飲食・グッズ収入等が好調に推移し、前年を大きく上回った



# CONTENTS

## 01

2024年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期3Q 決算サマリー
- 6 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 10 セグメント情報 食肉事業本部
- 12 セグメント情報 海外事業本部
- 13 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

2024年3月期

計画

- 15 計画ハイライト
- 19 2024年3月期計画 加工事業本部
- 22 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 24 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

2024年3月期

主な財務データ／参考資料

- 26 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 27 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 28 連結貸借対照表
- 29 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費等
- 31 海外事業本部 地域別売上高内訳
- 32 外部環境／市況

**売上高** 売上高は計画通りを見込む

**事業利益** ボールパーク事業と加工事業の上振れにより通期計画を+10億円上方修正

(単位：億円)

	23年3月期通期	2Q時見込	3Q時見込	前年差	増減率
売上高	12,598	13,000	<b>13,000</b>	402	3.2%
事業利益	256	440	<b>450</b>	194	75.8%
内) 継続事業	282	450	<b>460</b>	178	63.1%
事業利益率	2.2%	3.5%	<b>3.5%</b>	1.3%	-
税引前当期利益	222	420	<b>400</b>	178	80.5%
親会社に帰属する当期利益	166	280	<b>270</b>	104	62.3%
ROE	3.4%	5.6%	<b>5.4%</b>	2.0%	-
ROIC	2.4%	4.0%	<b>4.1%</b>	1.7%	-

※ 売上高事業利益率は、非継続事業調整後の事業利益を用いて算出しております。

# 16 計画ハイライト② 2024年3月期通期計画

## セグメント別事業利益計画

(単位：億円)

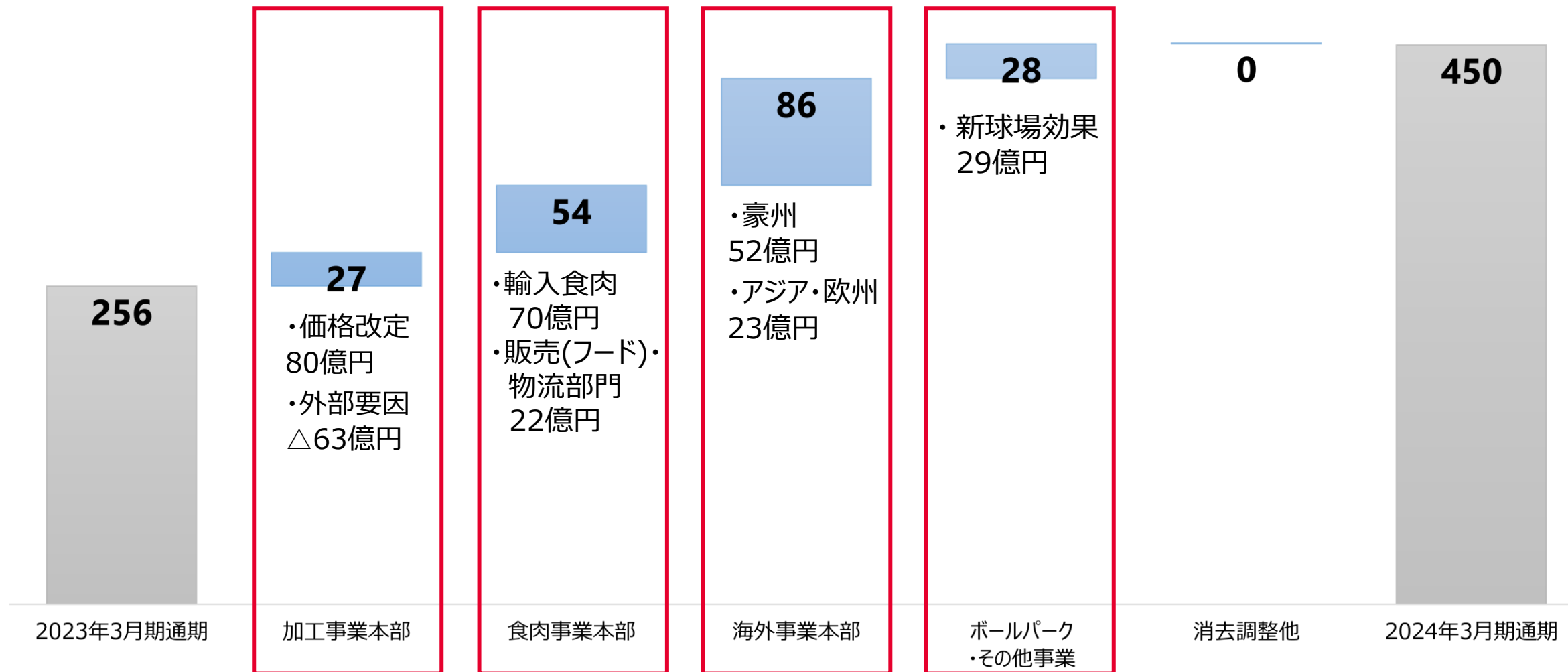
	2024年3月期											
	上期		3Q	4Q	下期				通期			
	23年3月期実績	実績	実績	見込み	23年3月期実績	2Q時見込	3Q時見込	見込差	23年3月期実績	2Q時見込	3Q時見込	見込差
加工事業本部	13	29	60	△12	37	41	48	7	50	70	77	7
食肉事業本部	142	170	113	62	149	180	175	△5	291	350	345	△5
海外事業本部	△9	2	20	14	△41	33	33	0	△50	35	35	0
ボールパーク・ その他事業	19	63	△19	△21	△24	△48	△40	8	△5	15	23	8
消去調整他	△13	△15	△8	△7	△16	△15	△16	0	△30	△30	△30	0
<b>合計</b>	<b>152</b>	<b>250</b>	<b>166</b>	<b>35</b>	<b>104</b>	<b>190</b>	<b>201</b>	<b>10</b>	<b>256</b>	<b>440</b>	<b>450</b>	<b>10</b>



# 17 計画ハイライト③ 通期事業利益計画 前年差の主な要因分析

### 2024年3月期通期見込み

(単位：億円)



# CONTENTS

## 01

2024年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期3Q 決算サマリー
- 6 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 10 セグメント情報 食肉事業本部
- 12 セグメント情報 海外事業本部
- 13 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

2024年3月期

計画

- 15 計画ハイライト
- 19 2024年3月期計画 加工事業本部
- 22 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 24 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

2024年3月期

主な財務データ／参考資料

- 26 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 27 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 28 連結貸借対照表
- 29 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費等
- 31 海外事業本部 地域別売上高内訳
- 32 外部環境／市況

(単位：億円)

	23年3月期 通期実績	2Q時見込	3Q時見込	前年差	増減率
売上高	4,177	4,300	<b>4,300</b>	123	2.9%
事業利益	50	70	<b>77</b>	27	54.0%
事業利益率	1.2%	1.6%	<b>1.8%</b>	0.6%	-

## 売上高 増収

- 収益性の高い商品に注力し、回復基調にある主力ブランドの販売施策を実行
- モーニングサブの更なる拡販に向けて、販促活動を強化

## 事業利益 増益

- シャウエッセンの回復、商品統廃合や低収益商品の見直しを継続し、商品ミックスを更に改善
- 高生産ラインへの集中と固定費削減により収益性を改善

## コンシューマ商品別/チャネル別 通期売上計画（前年比）

ハム・ソーセージ	金額	デリ商品	金額
ウイナー群	105.2%	チルドベーカリー群	101.7%
シャウエッセン群	105.1%	中華名菜群	81.5%
その他ウイナー群	105.5%	ハンバーグ・ミートボール群	102.3%
ハム・ベーコン群	95.5%	フライドチキン群	87.9%
コンシューマ計	103.6%	コンシューマ計	94.6%
業務用	99.2%	業務用	111.1%
<b>総計</b>	<b>102.3%</b>	<b>総計</b>	<b>100.7%</b>

## 利益の最大化に向けた商品ポートフォリオの再構築 顧客視点に立ったブランド戦略や商品開発を推進

- ロースハム他 継続してコンシューマ・PB向けの収益性を改善
- シャウエッセン 大袋の拡大施策やブランドエクステンションにより40周年に向けて更なる売上拡大を図る
- チルドピザ 差別化商品として石窯工房のミニピザを拡販  
新たな売場を開拓し、顧客ニーズに合った商品開発
- 中華名菜 顧客ニーズや世帯の変化に合わせて新形態商品を販売
- 新カテゴリー 新たなユーザー獲得に向けて新カテゴリーを創出  
韓国料理のK-kitchenの導入拡大

## 通期事業利益 計画差増減要因分析

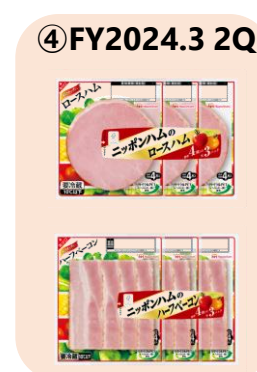
(単位：億円)

	下期			通期			主な計画差要因
	2Q時見込	3Q時見込	差異	2Q時見込	3Q時見込	差異	
ハム・ソーセージ&デリ商品	9	9	0	18	18	0	
外部要因	△31	△9	22	△85	△63	22	
主原料価格	△17	△10	7	△49	△42	7	販売数量が計画を下回り、原材料・資材の使用数量が減少
副資材	△13	△9	4	△35	△32	4	
電燃料	△2	10	12	△1	11	12	電力費の減少に加え、工場の平準化生産等の自助努力を推進
内部要因	40	18	△22	103	81	△22	
価格改定効果	20	19	△1	81	80	△1	3Qの数量効果が計画を下回った影響
改善活動	23	17	△6	20	14	△6	主力商品の販売数量が計画未達 販促経費の増加
その他	△3	△18	△15	2	△14	△15	決算調整や火災影響
乳製品・水産・エキス・一次加工	1	7	7	11	17	7	外食向けが好調。乳製品・エキスで利益を確保
DX費用	△5	△5	0	△9	△8	0	
<b>合計</b>	<b>4</b>	<b>11</b>	<b>7</b>	<b>20</b>	<b>27</b>	<b>7</b>	

# 21 2024年3月期計画 加工事業本部③ 価格改定まとめ

原材料や資材高騰、物流コストの上昇が見込まれる中、更なる収益改善に向けて来期も価格改定を実施

		FY2022.3		FY2023.3		FY2024.3		FY2025.3			
改定率：		5-12%		2-34%		2-26%		7-20%			
		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
コミュニティマ	ハム・ソーセージ	● 40品目			● 78品目		● 184品目	● 18品目			● 55品目
	加工食品	● 133品目			● 125品目		● 99品目				● 38品目
	業務用	● 232品目			● 168品目		● 107品目				● 112品目
	冷凍食品	● 19品目			● 17品目		● 35品目			● 7品目	



(単位：億円)

	23年3月期 通期実績	2Q時見込	3Q時見込	前年差	増減率
売上高	7,501	7,650	<b>7,650</b>	149	2.0%
事業利益	291	350	<b>345</b>	54	18.6%
事業利益率	3.9%	4.6%	<b>4.5%</b>	0.6%	-

## 売上高 増収

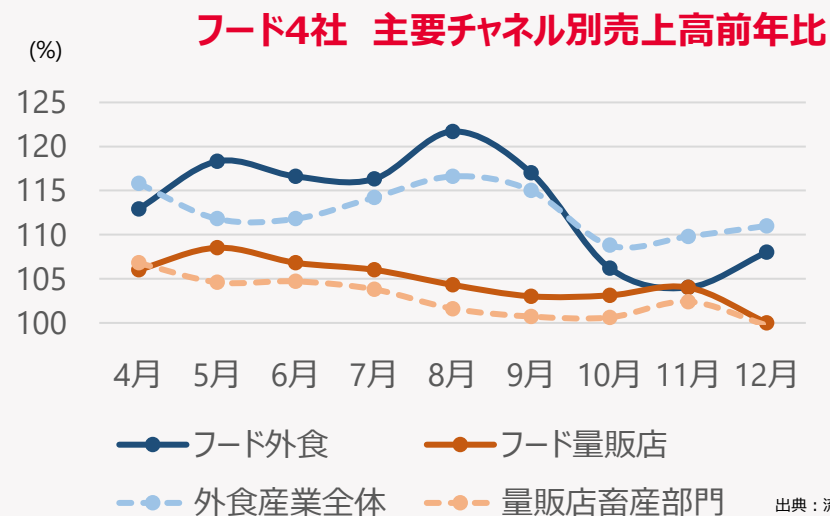
- 輸入牛肉の販売が回復し、数量が伸長
- 節約志向の中で国産鶏肉・豚肉の需要が堅調に推移し、売上を確保

## 事業利益 増益

- 販売(フード)部門は量販チャネルの数量拡大により利益を確保
- 輸入食肉は仕入れ価格に連動した販売により収益を確保

## 営業スタイル・エリア戦略等の基盤整備、 チャネル・商品施策で利益を拡大

- 輸入食肉の適正な在庫管理、パッカーとの関係構築・新規開拓
- 販売(フード)部門の営業・配送の効率化
- 生産から販売まで自社グループで手掛ける「桜姫」「麦小町」「大麦牛ANGUS」を積極的に展開



外食・量販店ともに  
マーケットを上回る  
水準を目指す

出典：流通三団体スーパーマーケット販売統計調査  
一般社団法人日本フードサービス協会

## 通期事業利益 計画差増減要因分析

(単位：億円)

	下期			通期			主な計画差要因
	2Q時見込	3Q時見込	差異	2Q時見込	3Q時見込	差異	
国産牛・豚事業	△2	△8	△6	△9	△16	△6	処理：豚は前年を下回る出荷重量や飼料価格の高止まり 3Qの豚肉相場が計画より下回ったことも影響 荷受：豚肉相場は3Qに入り下落し、販売環境が好転
国産鶏事業	△27	△27	0	△9	△9	0	生産：下期は想定相場を下回る見込み 荷受：むね肉は節約志向で需要堅調、販売数量増加で収益を確保
輸入食肉事業	58	64	6	64	70	6	仕入れ価格に連動した販売により収益を確保 需給バランスを見極めた在庫管理を徹底
販売(フード)・物流部門	4	4	0	22	22	0	量販：コスト高に伴う価格転嫁の浸透 外食：輸入品の販売強化
DX費用	△1	△1	0	△1	0	0	
その他	0	△6	△6	△7	△13	△6	
合計	31	26	△5	59	54	△5	

(単位：億円)

## 地域別売上計画

	23年3月期 通期実績	2Q時見込	3Q時見込	前年差	増減率
売上高	3,214	2,750	<b>2,750</b>	△464	△14.4%
事業利益	△50	35	<b>35</b>	86	-
事業利益率	-	1.3%	<b>1.3%</b>	-	-

### 【豪州】

- 牛の処理頭数が増加
- 米国産牛肉の減産による代替需要を獲得

### 【米州】

- 米国内の新規地域での鶏肉加工品の販促
- 加工食品アイテムの拡大

## 通期事業利益 計画差増減要因分析

(単位：億円)

(単位：億円)

	下期			通期			主な計画差要因	地域別事業利益
	2Q時見込	3Q時見込	差異	2Q時見込	3Q時見込	差異		24年3月期通期
豪州	61	55	△6	58	52	△6		8
オーストラリア	48	43	△6	44	38	△6	3Qの労使交渉(妥結済み)によるパッカー稼働の減少 1月の降雨による集荷難	20
ウルグアイ	12	12	0	14	14	0		△12
米州	3	3	0	9	9	0	生産性を向上させ、計画通りの販売を展開	26
アジア・欧州	11	15	4	19	23	4	トルコの鶏肉事業は好調な販売環境が継続	11
その他	0	2	2	0	2	2		△9
<b>合計</b>	<b>74</b>	<b>74</b>	<b>0</b>	<b>85</b>	<b>86</b>	<b>0</b>		<b>35</b>



# CONTENTS

## 01

2024年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期3Q 決算サマリー
- 6 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 10 セグメント情報 食肉事業本部
- 12 セグメント情報 海外事業本部
- 13 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

2024年3月期

計画

- 15 計画ハイライト
- 19 2024年3月期計画 加工事業本部
- 22 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 24 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

2024年3月期

主な財務データ／参考資料

- 26 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 27 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 28 連結貸借対照表
- 29 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費等
- 31 海外事業本部 地域別売上高内訳
- 32 外部環境／市況

## 26 2023年3月期連結業績概要及び2024年3月期計画

(単位：百万円)

	2023年3月期実績			2024年3月期計画					
	3Q累計	4Q	通期	3Q累計実績	増減率	4Q見込	増減率	通期見込	増減率
売上高	962,609	297,183	1,259,792	997,957	3.7%	302,043	1.6%	1,300,000	3.2%
売上原価	821,926	260,834	1,082,760	834,271	1.5%	253,729	△2.7%	1,088,000	0.5%
売上総利益	140,683	36,349	177,032	163,686	16.4%	48,314	32.9%	212,000	19.8%
売上総利益率	14.6%	12.2%	14.1%	16.4%	-	16.0%	-	16.3%	-
販売費及び一般管理費	122,752	43,328	166,080	126,688	3.2%	49,312	13.8%	176,000	6.0%
その他の収益・費用	5,401	1,506	6,907	5,926	-	△2,426	-	3,500	-
金融収益・費用	693	837	1,530	639	-	△139	-	500	-
持分法による投資損益	3,181	△408	2,773	118	△96.3%	△118	-	0	△100.0%
税引前四半期利益	27,206	△5,044	22,162	43,681	60.6%	△3,681	-	40,000	80.5%
法人所得税費用	5,763	△993	4,770	12,703	120.4%	△703	-	12,000	151.6%
税率	21.2%	-	21.5%	29.1%	-	-	-	30.0%	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益	19,219	△2,582	16,637	29,520	53.6%	△2,520	-	27,000	62.3%
事業利益	24,725	871	25,596	41,545	68.0%	3,455	296.7%	45,000	75.8%

持分法による投資損益：3Q累計前年差 ▲31億円 北米牛肉処理会社の業績悪化により、持分法による投資損益が大幅に減少

# 27 2023年3月期品種別売上高実績及び2024年3月期計画

(単位：百万円)

	2023年3月期実績			2024年3月期計画								
	3Q累計	4Q	通期実績	3Q累計実績	増減率	数量伸長率	4Q見込	増減率	数量伸長率	通期見込	増減率	数量伸長率
ハム・ソーセージ	101,502	28,659	130,161	105,127	3.6%	△0.8%	27,873	△2.7%	0.1%	133,000	2.2%	△0.6%
加工食品	179,350	55,816	235,166	180,589	0.7%	△4.2%	57,411	2.9%	△7.4%	238,000	1.2%	△4.9%
食肉	600,915	191,057	791,972	629,711	4.8%	1.6%	193,289	1.2%	1.3%	823,000	3.9%	1.5%
牛肉	240,816	71,556	312,372	250,353	4.0%	8.5%	72,647	1.5%	△6.9%	323,000	3.4%	5.2%
豚肉	189,863	61,138	251,001	200,821	5.8%	1.0%	58,179	△4.8%	△5.8%	259,000	3.2%	△0.6%
鶏肉	155,282	54,288	209,570	163,827	5.5%	△1.7%	58,173	7.2%	12.8%	222,000	5.9%	1.7%
その他食肉	14,954	4,075	19,029	14,710	△1.6%	7.8%	4,290	5.3%	-	19,000	△0.2%	△10.9%
乳製品	27,533	8,661	36,194	29,605	7.5%	△1.9%	8,395	△3.1%	11.3%	38,000	5.0%	1.2%
その他(水産含む)	53,309	12,990	66,229	52,925	△0.7%	-	15,075	16.1%	-	68,000	2.6%	-
<b>合計</b>	<b>962,609</b>	<b>297,183</b>	<b>1,259,792</b>	<b>997,957</b>	<b>3.7%</b>	<b>-</b>	<b>302,043</b>	<b>1.6%</b>	<b>-</b>	<b>1,300,000</b>	<b>3.2%</b>	<b>-</b>

※品種別の売上高はセグメント合計での算出となるため、セグメント売上高とは合致いたしません

※非継続事業(BPU)を除く実績

## 28 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	22年期末	23年期末	24年3Q累計	対前期末 増減率(%)	対前期末 増減額
現金及び現物同等物	85,374	64,986	69,348	6.7	4,362
営業債権及びその他の債権	136,017	146,660	184,751	26.0	38,091
棚卸資産	119,980	141,930	132,149	△6.9	△9,781
生物資産	32,755	27,984	26,555	△5.1	△1,429
その他	40,180	46,458	26,714	△42.5	△19,744
流動資産合計	414,306	428,018	439,517	2.7	11,499
有形固定資産	345,022	364,381	367,745	0.9	3,364
使用権資産	46,090	40,898	43,415	6.2	2,517
生物資産	1,240	1,517	1,456	△4.0	△61
その他	102,555	102,341	105,086	2.7	2,745
非流動資産合計	494,907	509,137	517,702	1.7	8,565
資産合計	909,213	937,155	957,219	2.1	20,064
有利子負債	90,056	102,199	89,193	△12.7	△13,006
営業債務及びその他の債務	103,719	106,027	124,824	17.7	18,797
その他	88,144	70,310	51,031	△27.4	△19,279
流動負債合計	281,919	278,536	265,048	△4.8	△13,488
有利子負債	121,351	139,856	145,051	3.7	5,195
その他	16,389	15,982	17,202	7.6	1,220
非流動負債合計	137,740	155,838	162,253	4.1	6,415
親会社の所有者に帰属する持分	479,069	492,913	518,123	5.1	25,210
非支配持分	10,485	9,868	11,795	19.5	1,927
資本合計	489,554	502,781	529,918	5.4	27,137
負債・資本合計	909,213	937,155	957,219	2.1	20,064

### 主な増減

#### 【流動資産合計】

BPU の株式譲渡に伴い売却目的保有資産が前期末比99.6%減の0.4億円となったが、現金及び現金同等物が前期末比6.7%増の693億円、当第3四半期末日が金融機関の休業日であった影響等により営業債権及びその他の債権が前期末比26.0%増の1,848億円となったこと等から、前期末比2.7%増の4,395億円となった。

#### 【非流動資産合計】

繰延税金資産が前期末比10.8%減の277億円となったが、無形資産及びのれんが前期末比21.1%増の244億円となったことで、前期末比1.7%増の5,177億円となった。

#### 【流動・非流動負債合計】

負債は、相場高と需要回復を受けた仕入の増加等により営業債務及びその他の債務が前期末比17.7%増の1,248億円となったが、BPU の株式譲渡により売却目的保有資産に直接関連する負債が114億円減少したこと等から、前期末比1.6%減の4,273億円となった。

## 29 連結キャッシュ・フロー計算書及び設備投資額、減価償却費等

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	22年3月期 3Q累計	23年3月期 3Q累計	24年3月期 3Q累計
税引前四半期利益	※49,109	27,206	43,681
減価償却費	27,122	28,352	29,567
受取債権増減	△62,610	△60,835	△37,536
棚卸債権増減	△18,640	△27,464	11,179
生物資産増減	△6,362	856	2,434
営業債務増減	30,809	24,231	18,244
その他	△24,721	△22,100	△7,026
営業活動によるCF	△5,293	△29,754	60,543
固定資産取得・売却	△34,446	△44,861	△33,138
その他	3,997	13,929	188
投資活動によるCF	△30,449	△30,932	△32,950
財務活動によるCF	11,695	37,956	△27,818

※22年3月期3Q累計のみ非継続事業(BPU)を含む実績

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業債権及びその他の債権の増加375億円等があったが、税引前四半期利益437億円、減価償却費及び償却費296億円、営業債務及びその他の債務の増加182億円等により、605億円の純キャッシュ増となった。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産等の取得338億円等により、330億円の純キャッシュ減となった。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入債務による調達412億円等があったが、短期借入金の減少288億円、借入債務の返済293億円等により、278億円の純キャッシュ減となった。

### 設備投資額、減価償却費

(単位：百万円)

	23年3月期	24年3月期			
	3Q累計	3Q累計実績	増減率(%)	前年差	通期見込
設備投資合計	47,305	39,650	△ 16.2	△7,655	66,100
加工事業本部	5,376	5,118	△ 4.8	△258	11,100
食肉事業本部	12,409	14,607	17.7	2,198	27,000
海外事業本部	2,483	5,106	105.6	2,623	7,900
ボールパーク・その他事業	18,109	683	△ 96.2	△17,426	1,100
消去調整他	8,928	14,136	58.3	5,208	19,000
減価償却費	28,313	29,526	4.3	1,213	40,000

### 事業利益算出方法

(単位：百万円)

	2023年3月期実績			2024年3月期計画		
	3Q累計	4Q	通期	3Q累計実績	4Q見込	通期見込
① 営業利益	17,931	△6,979	10,952	36,998	-	-
② 為替差損益	△9,047	△1,032	△10,079	△5,093	-	-
③ IFRSへの調整他	346	△7,338	△6,992	△633	-	-
④ 非継続事業への調整	1,907	520	2,427	1,179	-	-
事業利益①-②-③-④	24,725	871	25,596	41,545	3,455	45,000

# CONTENTS

## 01

2023年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期3Q 決算サマリー
- 6 実績ハイライト
- 8 セグメント情報 加工事業本部
- 10 セグメント情報 食肉事業本部
- 12 セグメント情報 海外事業本部
- 13 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

2024年3月期

計画

- 15 計画ハイライト
- 19 2024年3月期計画 加工事業本部
- 22 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 24 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

2024年3月期

主な財務データ／参考資料

- 26 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 27 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 28 連結貸借対照表
- 29 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費等
- 31 海外事業本部 地域別売上高内訳
- 32 外部環境／市況

# 31 海外事業本部 地域別売上高内訳

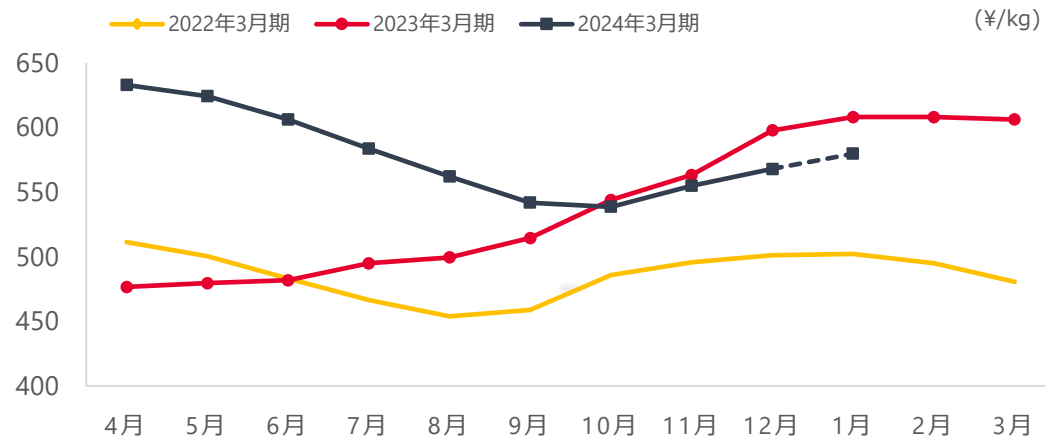
(単位：億円)

		2023年3月期実績		2024年3月期実績				
		3Q実績	3Q累計実績	3Q実績	3Q累計実績	3Q累計売上高構成比	3Q累計前年差	3Q累計増減率
海外合計	売上高	813	2,506	695	2,197	-	△309	△12.3%
	外部顧客に対する売上高	473	1,441	392	1,312	59.7%	△129	△9.0%
	セグメント間の内部売上高	339	1,065	303	885	40.3%	△180	△16.9%
豪州	売上高	347	1,050	239	871	-	△179	△17.1%
	外部顧客に対する売上高	315	933	216	802	92.0%	△131	△14.1%
	セグメント間の内部売上高	32	117	24	69	8.0%	△48	△40.7%
米州	売上高	320	951	330	937	-	△14	△1.5%
	外部顧客に対する売上高	85	259	104	278	29.7%	19	7.2%
	セグメント間の内部売上高	235	691	226	659	70.3%	△33	△4.7%
アジア・欧州	売上高	149	527	129	397	-	△130	△24.7%
	外部顧客に対する売上高	73	249	72	232	58.5%	△16	△6.6%
	セグメント間の内部売上高	76	279	56	165	41.5%	△114	△40.9%



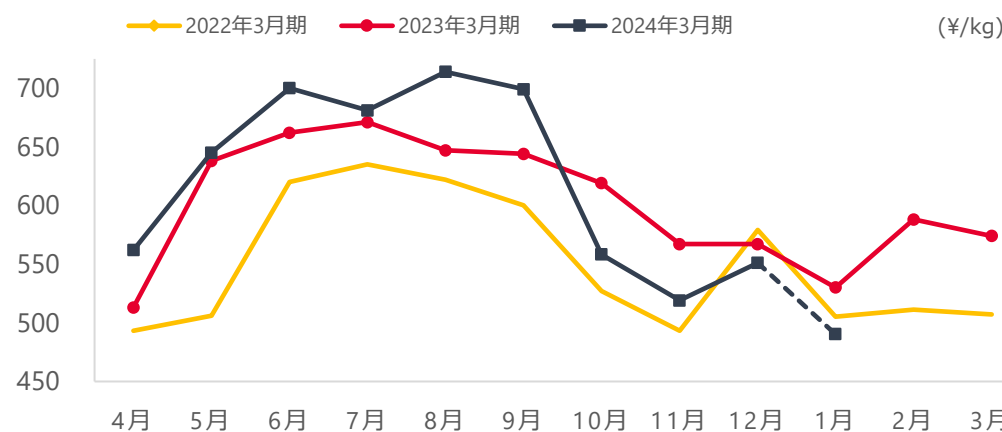
## 国産鶏肉相場

出典：鶏肉加重平均※食品産業新聞社『畜産日報』掲載分から単純平均単価



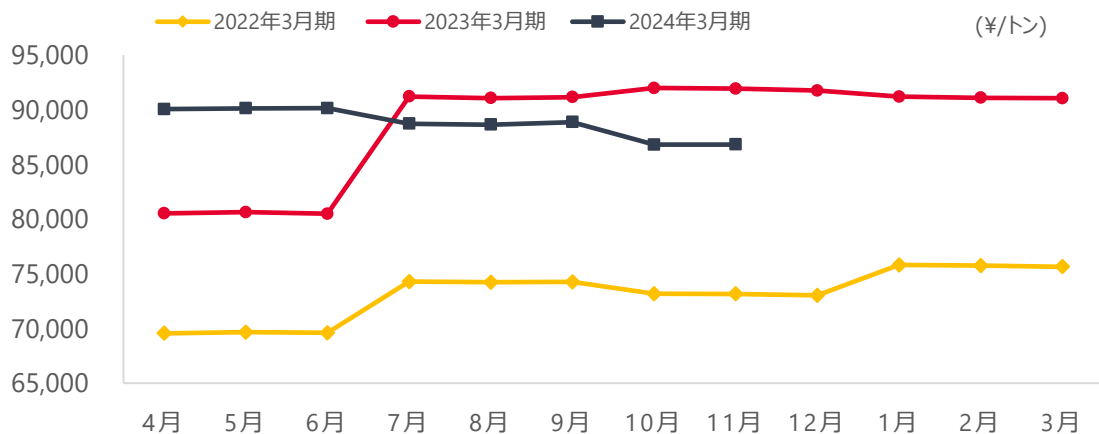
## 国産豚肉枝肉卸売価格

出典：上物 東京食肉市場平均価格



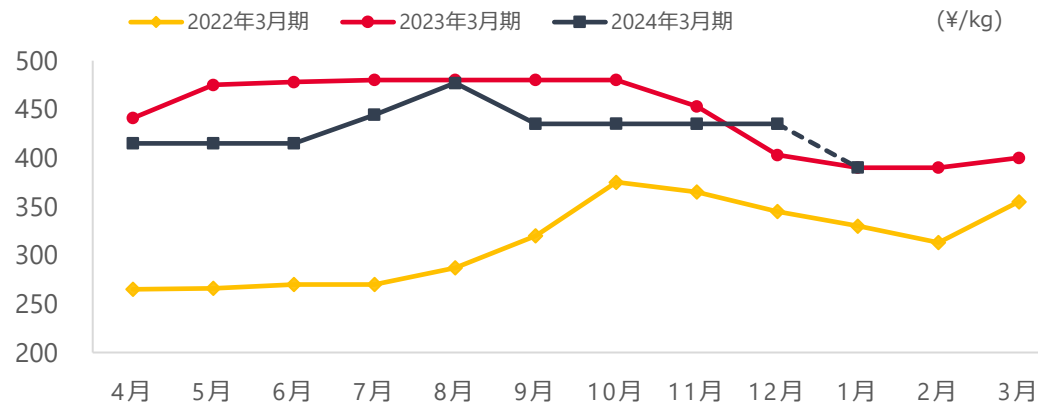
## 配合飼料価格

出典：ALIC



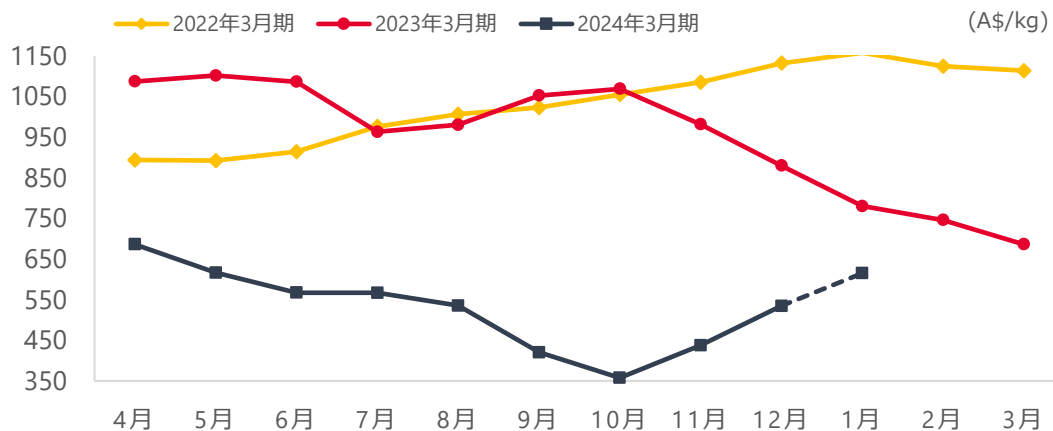
## ブラジル産鶏もも肉 日本国内価格

出典：ALIC(農林水産省「食鳥市況情報」)、食品産業新聞社畜産日報掲載分から単純平均単価

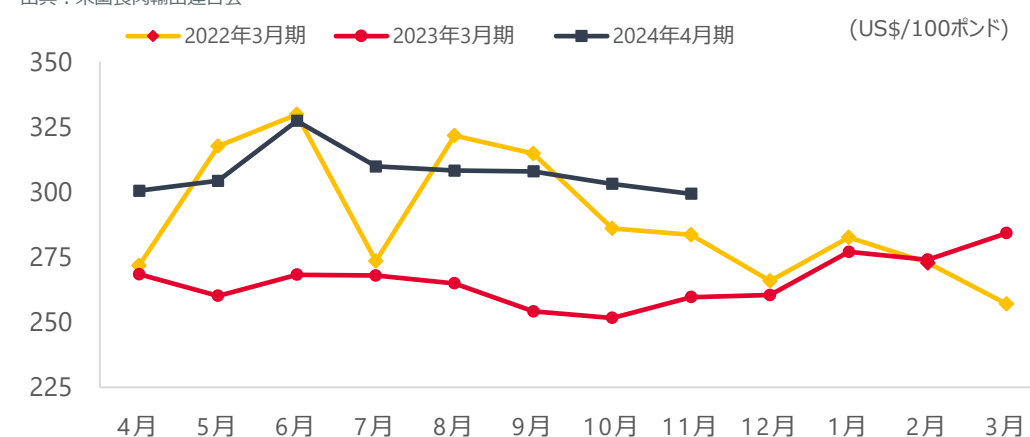




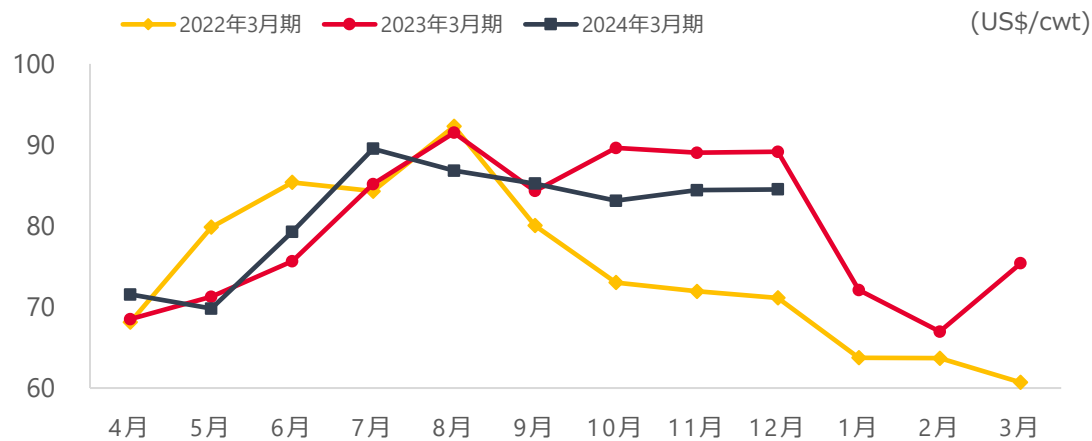
### 豪州産若齢牛価格(生産者販売価格) 出典：MLA



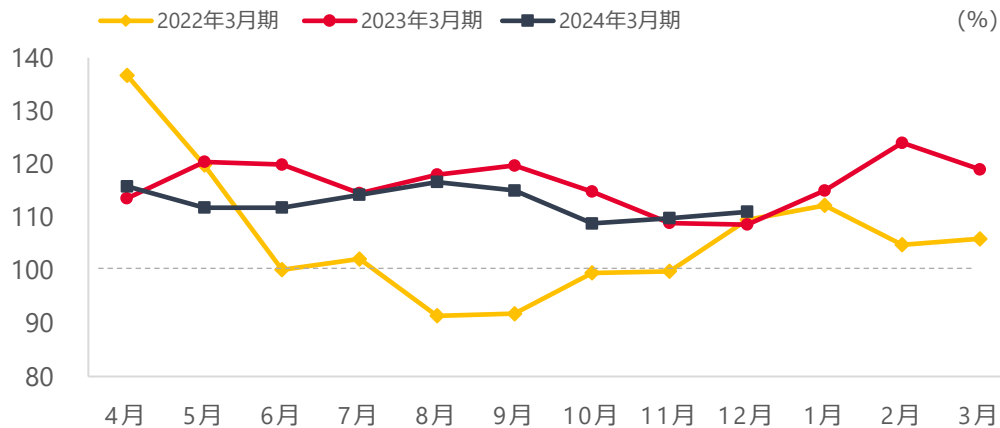
### 米国産牛肉カットアウトバリュー(卸売指標価格) 現地価格 出典：米国食肉輸出連合会



### 米国産豚肉ピクニック価格(現地価格) 出典：米国食肉輸出連合会



### 外食売上高前年同月比 出典：一般社団法人日本フードサービス協会



## お問合せ先

〒141-6013 東京都品川区大崎2-1-1

Think Park Tower

日本ハム株式会社 広報IR部

電話：03-4555-8024

メールアドレス：[nhfoods.ir@nipponham.co.jp](mailto:nhfoods.ir@nipponham.co.jp)

### 見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願いいたします。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。